

社会

社会科における指導の重点(身に付けさせたい力) ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等
資料から必要な情報を取り出し、まとめること。	社会的事象について、比較したり関連付けたりしながら考え・判断し、説明すること。

	児童・生徒の学力の状況(課題)	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証(2月)
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を読みとることに課題がある。ア ・中心となる課題に対して解決するための情報を選択、判断することに課題がある。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を読み取るための視点を与え、別の資料でも読み取り方を練習させる。ア ・関連する資料を並べたワークシート等を提示することで、必要な情報を選択したり、判断したりやすくする。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・11月 ・毎単元 	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフや表の読み取り方について具体的に上げて指導をした。年ごとの増加数や減少数から表題について考える力が付いた。 ・各単元の中心となる課題に対し、グラフや表を読み取り、なぜ数値が増えたのか減ったのかを調べる意識を高めることができた。
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を正しく読み取ったり、資料から分かったことを比較したりまとめたりすることが苦手である。ア ・社会的な事象に対して、自分の考えをもつことが苦手である。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の中で、資料の読み取り方を学んだり、複数の資料を比較したりする時間を設ける。ア ・学習の中で予想や自分の知っていることを話す時間を設け、見通しをもって調べ学習に取り組むようにさせる。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎単元 ・毎時間 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の中で複数の資料を関連付けて予想を立てたり、分かることを班で話し合ったりする時間を設けることで、課題に取り組む意欲につながった。 ・タブレットを使った調べ学習や、身近なところから資料をもってこることで、課題に取り組む意欲を高めることができた。
第5学年	<ul style="list-style-type: none"> ・問われている内容と資料を結び付けて、丁寧に読み取ることが苦手である。ア ・自分が学んだことや調べたことを自分の言葉で説明することに課題がある。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な資料を選択する力や、複数の資料を関連させて問題を読み解く力を身に付けさせるような授業の展開を図る。ア ・単元の終末で、学習したことを説明する活動の時間を設ける。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎単元 ・毎単元末 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料から情報を読み取ることはできるようになったが、複数の資料を関連させて読み取り、総合的に考えることに課題が残る。 ・教科書や資料集にある説明の仕方を手掛かりにして、自分の言葉で説明できるようになってきた。
第6学年	<ul style="list-style-type: none"> ・問われている内容と資料を正確に結び付けて、読み取ったことを自分の言葉でまとめることが苦手である。ア 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の資料から必要な情報を読み取ったり、読み取ったことを自分の言葉で端的にまとめたりする活動を取り入れた授業を展開する。ア 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎単元 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な資料を選択して調べたり、既習の学習と結び付けて考えたりできる

	<p>・事象や資料などを関連付けて考察することが苦手である。①</p>	<p>・資料を活用して事象を多面的に捉えさせ、グループで話し合う活動を取り入れることで、思考力、判断力を育てる。①</p>	<p>・毎单元</p>	<p>よようになってきた。 ・資料から疑問をもったり、予想を立て追究したりすることを通して、調べたことと考えたことをノートにまとめたり、友達の考えから考えを広げたりできるようになった。</p>
--	-------------------------------------	---	-------------	---

<p>■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について</p>	<p>■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について</p>
<p>3・4年 ロイロノートで調べたこと、まとめたことを共有する。【重点：個別】 5年 ロイロノートで集めた資料やそれを基に考えたことを共有し、お互いに意見を伝え合う。【重点：協働】 6年 時代の特徴や歴史上の人物を、タブレット端末を活用してさらに追究させる。【重点：個別】</p>	<p>3・4年 単元末に学習問題について学んだことを振り返る時間を設定し、新たな課題を見いだす力を育てる。 5・6年 学習の振り返りをするによって自分の学びを振り返り、知識と技能を定着させる場面を設定する。</p>